

将来の旭市を担う子どもたちのために 学校再編に向けた取り組み

子どもたちにとって、将来の教育環境の公平性が保たれ、充実したものになるよう学校の再編を進めています。

今回は、統合に向けたロードマップと、現在の取り組み状況を紹介します。

「(仮称)干潟地域小学校」の取り組み状況

旭市学校再編基本方針では、干潟地域の中和・萬歳・古城小を1校に統合し、統合校の位置は古城小を活用する方針としています。

令和5年7月に、区長や保護者など25人程度の委員で構成する地域検討会議を各学校に設置し、学校再編に関する話し合いを4回にわたり行いました。さまざまな意見を出し合った結果、各学校とも基本方針のとおり、統合に賛成という結論で意見がまとまりました。

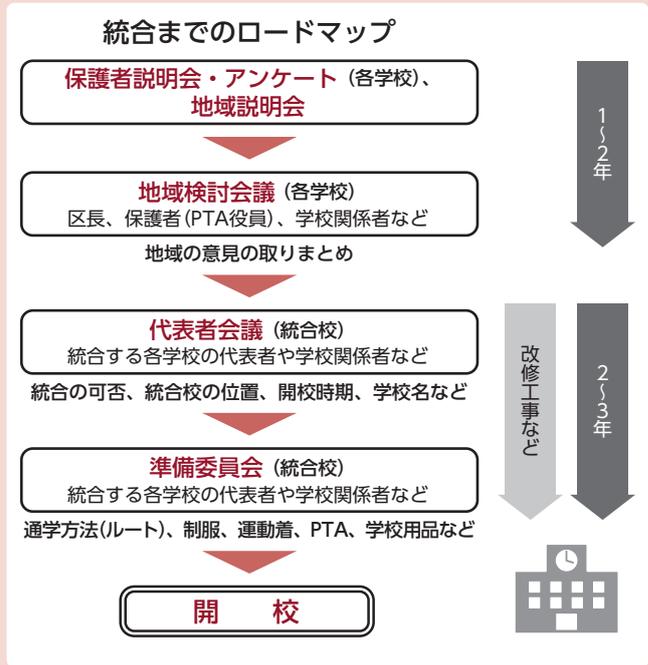
今後、各学校の代表者による代表者会議を設置して「統合の可否」「統合校の位置」「開校時期」「学校名」などについて協議します。

(仮称)干潟地域小学校 第1回 学校再編代表者会議

日時／1月22日(月) 午後6時30分～

場所／ひかた市民センター

※会議は傍聴できます。会場の都合上、定員は10人となります。



そのほかの学校では

本年度、保護者説明会と保護者アンケートを実施しています。令和6年度からは、地域説明会や地域検討会議を順次実施する予定です。

学校再編に関するくわしい内容は、市ホームページで確認できます。



広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第16回

1999年(平成11年)1月15日号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今回は広報あさひ平成11年1月15日号を紹介します。

表紙は、元日の朝に旭郵便局で行われた年賀状の配達出発式の様子です。新年のあいさつを一刻でも早く届けようと、郵便局員やアルバイトの高校生たちが一斉に飛び出していく姿は、新春の風物詩の一つとなっていました。

そのほかでは「旭市の風景展」を紹介しています。自分が住むまちに関心を持ってもらうため、旭のさまざまな風景を写した絵画や写真を、市民に広く募集した企画でした。



旭市の風景展

平成11年の主な出来事

- 欧州で単一通貨「ユーロ」が誕生



表紙